

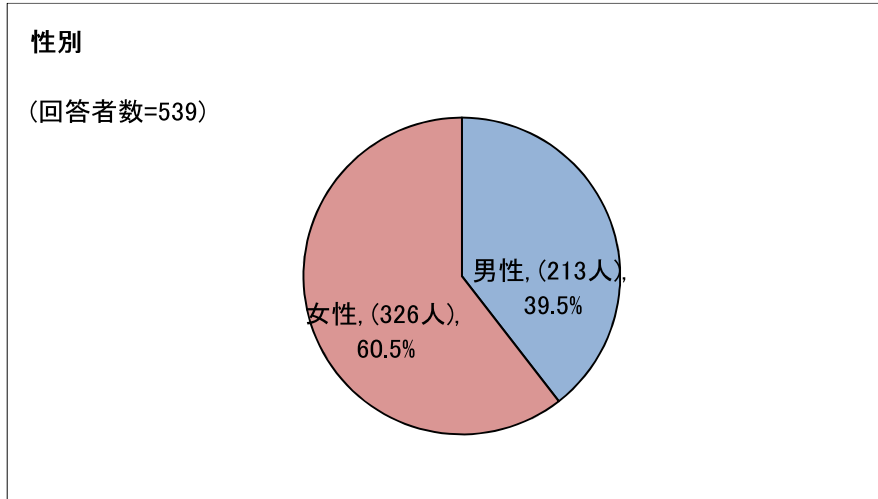
## 成田市インターネット市政モニターアンケート集計結果

第 58 回のテーマは「歯と口腔に関するアンケート」でした。

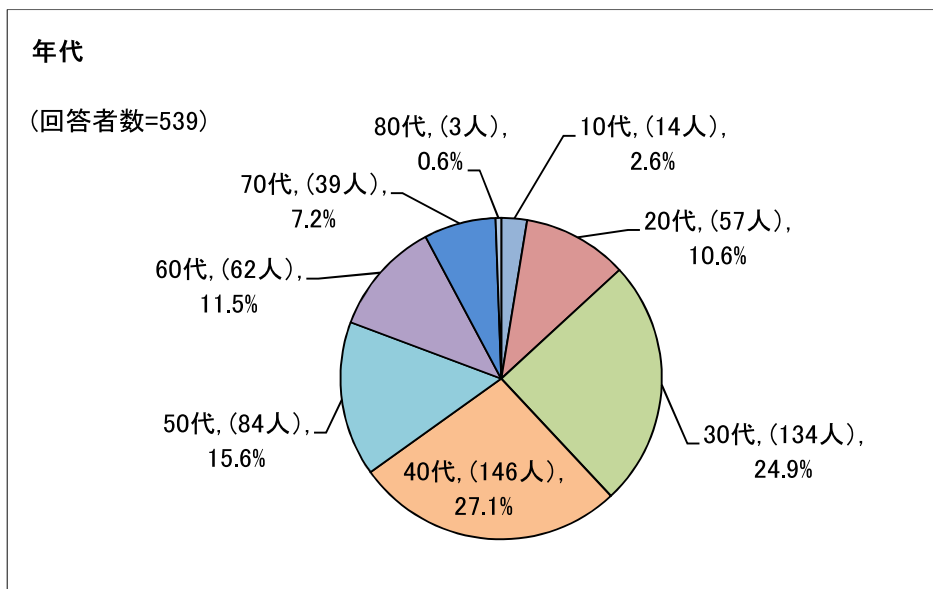
配信者数:923 人

実施期間:令和元年 6 月 14 日(金)～6 月 24 日(月)

回答者数(回答率):539 人(58.4%)



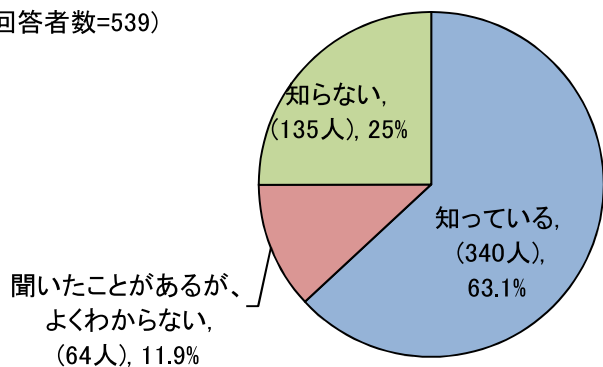
性別 単一回答	人	%
1 男性	213	39.5
2 女性	326	60.5
全体	539	100.0



年代 単一回答	人	%
2 10代	14	2.6
3 20代	57	10.6
4 30代	134	24.9
5 40代	146	27.1
6 50代	84	15.6
7 60代	62	11.5
8 70代	39	7.2
9 80代	3	0.6
全体	539	100.0

[Q1]8020(はちまるにいまる)運動を知っていますか

(回答者数=539)



Q1	8020(はちまるにいまる)運動を知っていますか	人	%
	単一回答		
1	知っている	340	63.1
2	聞いたことがあるが、よくわからない	64	11.9
3	知らない	135	25.0
	全体	539	100.0

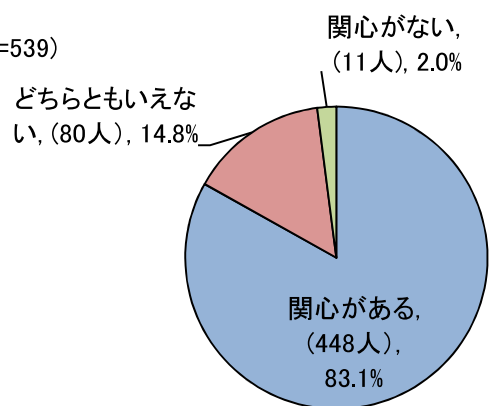
平成 27年の「歯と口腔の健康づくり計画」策定時は、8020 運動について知っている人の割合は 19.5%でした。

しかし、今回のアンケートでは 63.1%の人が「知っている」と回答し、8020 運動の認知度が高まっていることがわかります。平成 28 年の国の調査では、80 歳で 20 本以上歯が残っている人の割合が 51.2%と、2 人に 1 人が 8020 を達成しています。80 歳で 20 本以上自分の歯を保つことで、何でもおいしく食べることが出来ます。

今後も 8020 の達成者増加に向けて、啓発活動をしていきたいと思えます。

[Q2]自身の歯と口腔の健康に関心がありますか

(回答者数=539)



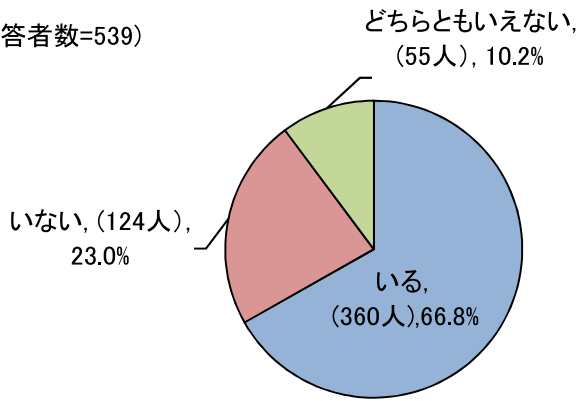
Q2	自身の歯と口腔の健康に関心がありますか	人	%
	単一回答		
1	関心がある	448	83.1
2	どちらともいえない	80	14.8
3	関心がない	11	2.0
	全体	539	100.0

自身の歯と口腔の健康について「関心がある」人の割合は 83.1%でした。

しかし、約 17%の人が、「どちらともいえない」、「関心がない」と回答しました。歯と口腔の健康が、全身の健康に関係していることを引き続き働きかけていく必要があります。

[Q3]かかりつけ歯科医はいますか

(回答者数=539)



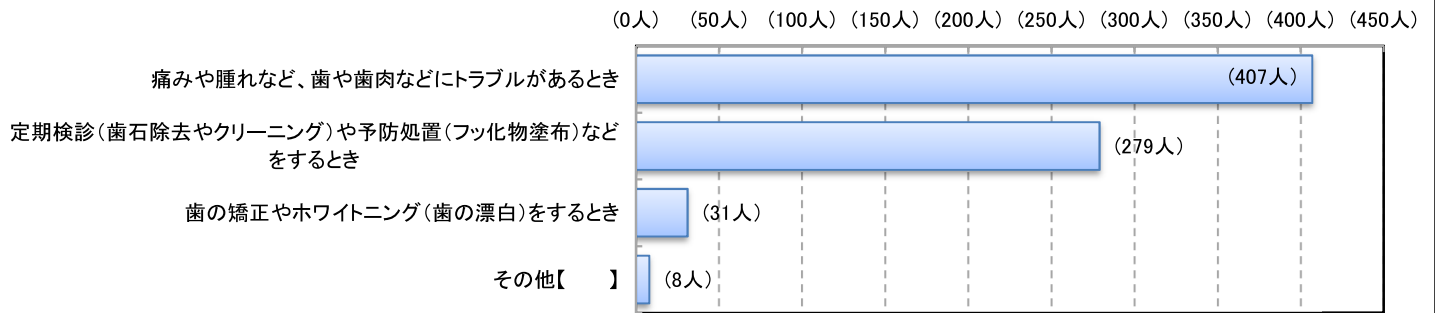
Q3	かかりつけ歯科医はいますか 単一回答	人	%
1	いる	360	66.8
2	いない	124	23.0
3	どちらともいえない	55	10.2
	全体	539	100.0

かかりつけ歯科医が「いる」人は 66.8%でした。平成 27 年に実施した健康意識調査では、70.8%の人がかかりつけ歯科医がいると回答しており、モニターアンケート回答者は約 4%低い結果となりました。

かかりつけ歯科医は、“気軽に相談できる”、“個人の心身状態や生活状態に合った適切な指導や治療が受けられる”など、歯と口腔の健康維持に欠かせないものです。かかりつけ歯科医を持つことの利得について引き続き周知し推進していく必要があります。

[Q4]どういうときに歯科医院を受診しますか

(回答者数=539)



Q4	どういうときに歯科医院を受診しますか 複数回答	人	%
1	痛みや腫れなど、歯や歯肉などにトラブルがあるとき	407	75.5
2	定期検診(歯石除去やクリーニング)や予防処置(フッ化物塗布)などをするとき	279	51.8
3	歯の矯正やホワイトニング(歯の漂白)をするとき	31	5.8
4	その他【 】	8	1.5
	全体	539	100.0

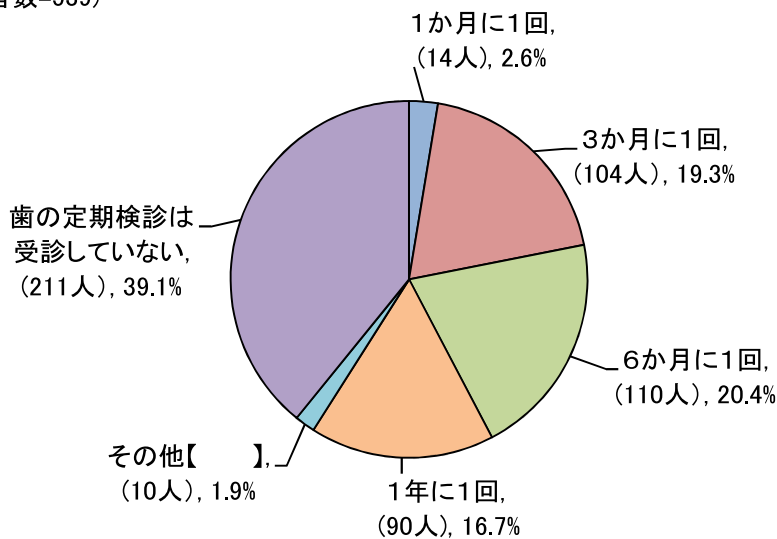
その他【 】

- 詰め物が取れたとき。
- 口腔内の臭いが気になるとき
- 最近受診していない
- 受診したことがない

痛みや腫れなどの自覚症状がある時に受診する人は、75.5%と多く、定期検診等のために受診する人は 51.8%です。平成 27 年に実施した市政モニターアンケートでは、定期検診等のために受診する人は 41.9%であり、今回約 10%の増加となりました。しかし、歯と口腔の疾患は自覚症状があらわれにくいいため、定期検診につながりにくい傾向があります。今後も定期検診の重要性を伝えていく必要があります。

[Q5]歯の定期検診は、どのくらいの間隔で受診していますか

(回答者数=539)

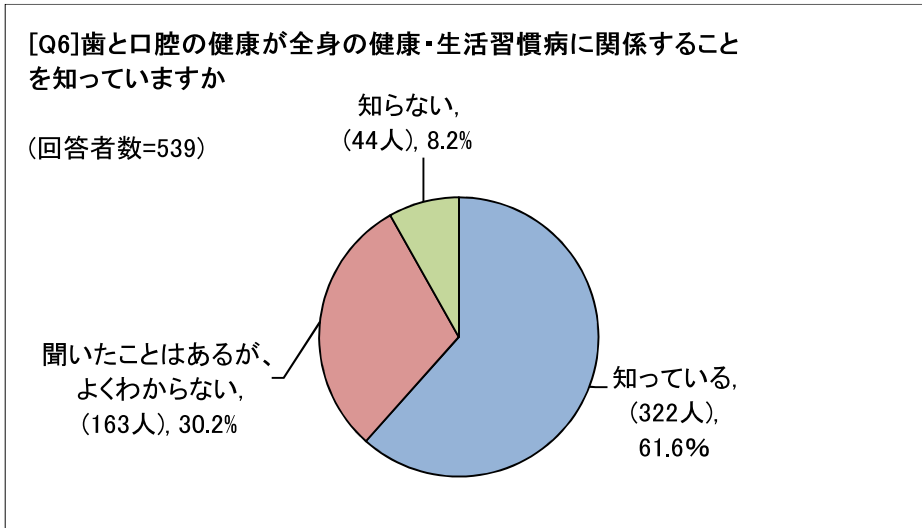


Q5	歯の定期検診は、どのくらいの間隔で受診していますか 単一回答		
		人	%
1	1か月に1回	14	2.6
2	3か月に1回	104	19.3
3	6か月に1回	110	20.4
4	1年に1回	90	16.7
5	その他【 】	10	1.9
6	歯の定期検診は受診していない	211	39.1
	全体	539	100.0

その他【 】

- 4か月に1回(2)
- 気になる症状があったとき(2)
- もっと長い間隔
- 定期検診は無し。治療の時に現在の状況を聞いて、必要な処置をしている

1年に1回以上定期検診を受けている割合は59%ですが、一方で39.1%が、「歯の定期検診は受診していない」と回答しました。その他の意見やQ4の結果からもわかるように、“気になる症状があったとき”や、“治療のとき”など、自覚症状があるときに受診していることが考えられます。定期検診の受診頻度、必要性の認識は個人によって差があります。



Q6	歯と口腔の健康が全身の健康・生活習慣病に関係することを知っていますか 単一回答		
		人	%
	1 知っている	332	61.6
	2 聞いたことはあるが、よくわからない	163	30.2
	3 知らない	44	8.2
	全体	539	100.0

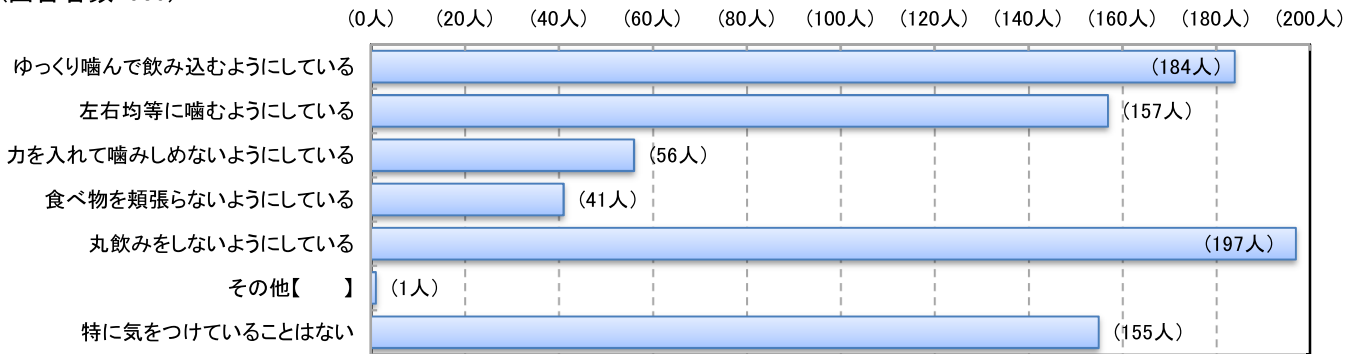
歯と口腔の健康と全身の健康・生活習慣病との関連について、61.6%の人が「知っている」と回答しました。平成 26 年に実施した市政モニターアンケートにおいても、関連を知る割合が 64.6%と、大きな差は見られません。

「聞いたことはあるが、よくわからない」と回答した割合についても、平成 26 年と今回を比較しても、約 30%と差は見られませんでした。

口腔の生活習慣病である歯周病は、心疾患や脳血管疾患、糖尿病と深い関係があります。また、低体重児早産、誤嚥性肺炎のリスクが高まるなど、歯と口腔の疾患と全身の健康との関係は、年齢を問わず良好に保つことが重要です。

[Q7] 食べる時に気をつけていることはありますか

(回答者数=539)



Q7 食べる時に気をつけていることはありますか 複数回答	人	%
1 ゆっくり嚙んで飲み込むようにしている	184	34.1
2 左右均等に嚙むようにしている	157	29.1
3 力を入れて嚙みしめないようにしている	56	10.4
4 食べ物を頬張らないようにしている	41	7.6
5 丸飲みをしないようにしている	197	36.5
6 その他【 】	1	0.2
7 特に気をつけていることはない	155	28.8
全体	539	100.0

その他【 】

- よく嚙みゆっくり食事する

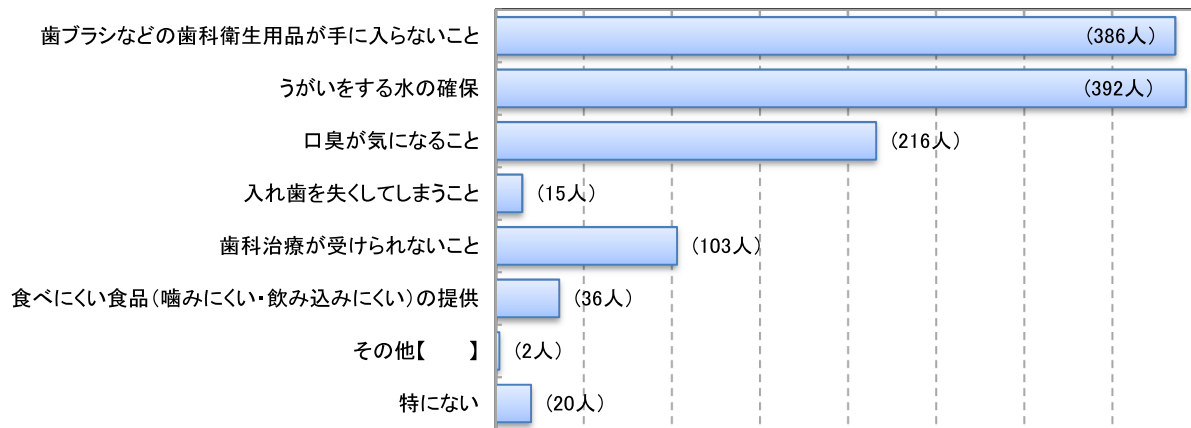
「丸飲みをしないようにしている」36.5%、「ゆっくり嚙んで飲み込むようにしている」34.1%と、嚙下(飲み込み)時に気を付けている回答が上位に見られました。

年齢を重ねるとともに、歯の喪失が進み、食べて飲み込む機能が低下します。自分の歯で、食事をとることは生きがいにも繋がり、健康寿命の延伸にも寄与します。歯と口腔の歯科疾患の予防に加え、口腔機能の低下予防についても周知していく必要があります。

**[Q8]もし大きな災害が起こった時、特に歯や口腔のことで困ると思われることは何ですか  
(3つまで選択)**

(回答者数=539)

(0人) (50人) (100人) (150人) (200人) (250人) (300人) (350人) (400人)



Q8 複数回答	もし大きな災害が起こった時、特に歯や口腔のことで困ると思われることは何ですか (3つまで選択)	
	人	%
1	386	71.6
2	392	72.7
3	216	40.1
4	15	2.8
5	103	19.1
6	36	6.7
7	2	0.4
8	20	3.7
全体	539	100.0

**その他【 】**

- 歯みがきができなくなる可能性がある

「うがいをする水の確保」72.7%、「歯ブラシなどの歯科衛生用品が手に入らない」71.6%と、衛生面での不安が多くあげられました。

大規模災害の発生時には、歯や口腔への直接的外傷に加え、避難所などでの集団生活による偏った食生活やストレス、水不足などによりむし歯や歯周病、口臭など歯科的な問題が起こることが考えられます。また清潔の維持が行えず、誤嚥性肺炎にも注意が必要です。

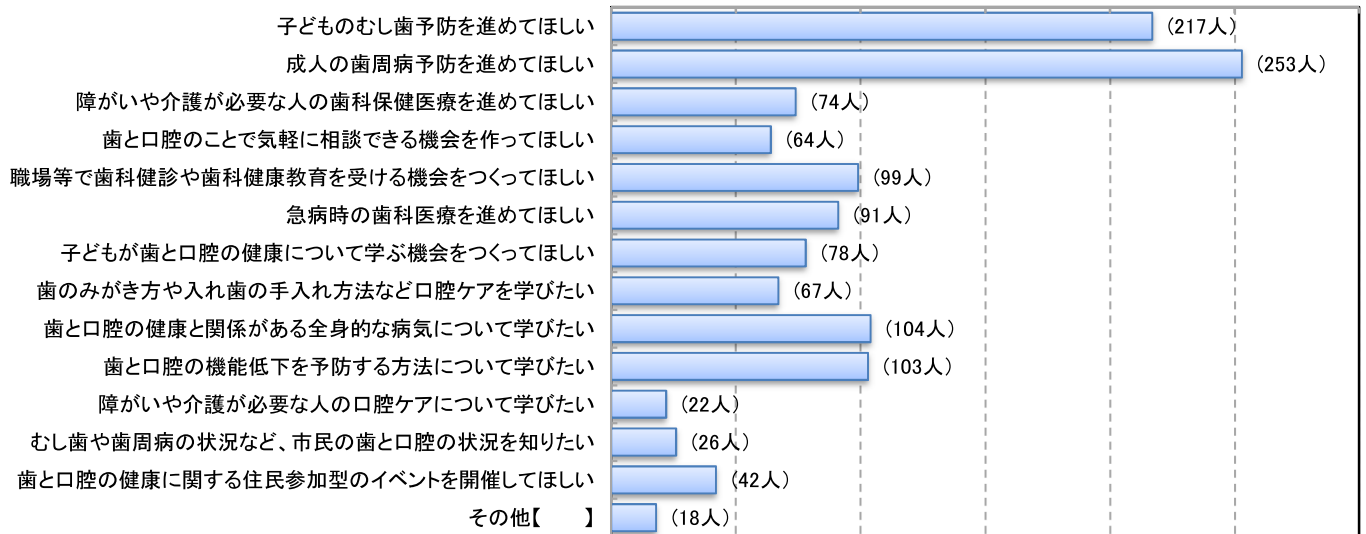
現在日本では、地震や自然災害が頻出しており、いつ自分たちが被災者になるかわかりません。衛生面や機能面を含めた非常時の口腔健康管理の情報提供に努めていきたいと考えます。



[Q9]生涯にわたる歯と口腔の健康に関して、市で取り組んでほしいことは何ですか(3つまで選択)

(回答者数=539)

(0人) (50人) (100人) (150人) (200人) (250人) (300人)



Q9	生涯にわたる歯と口腔の健康に関して、市で取り組んでほしいことは何ですか (3つまで選択)		
		人	%
	複数回答		
1	子どものむし歯予防を進めてほしい	217	40.3
2	成人の歯周病予防を進めてほしい	253	46.9
3	障がいや介護が必要な人の歯科保健医療を進めてほしい	74	13.7
4	歯と口腔のことで気軽に相談できる機会を作ってほしい	64	11.9
5	職場等で歯科健診や歯科健康教育を受ける機会をつくってほしい	99	18.4
6	急病時の歯科医療を進めてほしい	91	16.9
7	子どもが歯と口腔の健康について学ぶ機会をつくってほしい	78	14.5
8	歯のみがき方や入れ歯の手入れ方法など口腔ケアを学びたい	67	12.4
9	歯と口腔の健康と関係がある全身的な病気について学びたい	104	19.3
10	歯と口腔の機能低下を予防する方法について学びたい	103	19.1
11	障がいや介護が必要な人の口腔ケアについて学びたい	22	4.1
12	むし歯や歯周病の状況など、市民の歯と口腔の状況を知りたい	26	4.8
13	歯と口腔の健康に関する住民参加型のイベントを開催してほしい	42	7.8
14	その他【 】	18	3.3
	全体	539	100.0

その他【 】

- 特になし(2)
- 歯科検診の助成の回数を増やして欲しい(2)
- 歯ブラシやフロスなどの試供品配布(2)
- 口臭についての講演会の開催
- 子どもはしばらくフッ化物を塗ってほしい
- 歯科医の情報
- 市の検診の内容の精査

「成人の歯周病予防」46.9%、「子どものむし歯予防」40.3%と医療対策を望む意見が多いことがわかりました。市の既存の歯科保健事業が、十分提供が行えていないことも課題であると考えます。今回の回答を参考に、成人歯科検診や歯科健康教育等の内容や周知方法も検討してまいりたいと思います。

【Q10】 その他、歯と口腔の健康づくりに関するご意見・ご希望等をご記入ください(自由記述)

- 子どものむし歯予防の推進・助成(フッ化物塗布含む)(5)
- 子ども対象の歯科健康教育の充実(歯みがき教室含む)(6)
- 子どもたちの健診でフッ化物塗布をしていただけるのはありがたいと思います。
- 学校等での表彰
- 自分は 8020 だと思うので、維持できるよう気をつけていきたい。生まれつきの質が悪いと思込んでいる人がいるので、子どもの時の手入れが大事だと強調したい。
- 子どもの歯や口腔の健康状態は親によって左右されて、虐待の発見にもつながると聞いています。そういったものを発見できる歯科医や、学校との連携体制によって、治療を受けられない子が減るといいと思います。
- 私が子供の頃は、歯医者へ行くことは何か問題があるときで、受診をする所、また痛い治療・長時間の待ち時間と治療・医者によっては恐怖による指導をされ、歯科はなるべく行かない所となっていました。時々、その様な治療をする医師をみかけ、時代錯誤、大変残念に思います。
- イベントなどの際に、からだ全体(歯も含む)の簡易チェックコーナーを企画してほしい。(2)
- 市のサイトに歯と口腔の事を載せるか、参照サイトへのリンクを貼ってくれると嬉しい。
- 成人向け口腔ケアの講習会の開催(5)
- 歯周病予防(健康教室の開催も含む)(6)
- 定期的な検診を検討したい(2)
- 歯と全身の健康の健康教室・啓発活動(5)
- 保険診療と保険外診療、歯科治療に関する情報提供(3)
- 若い頃からの正しい歯みがき指導が大事だと思う。自分なりに「8020」を目指して頑張っています。
- 歯並びと歯の健康。歯列矯正について(3)
- 歯科医が多く、どの歯科医院に受診したら良いのか迷う。(3)
- 市内の歯科医院についての情報が入手できる公式のサイトがあればよい。(4)
- 安心して任せられる歯科医院を知りたい(3)
- 歯医者にいきたいが、小さい子供を預けられず中々行かれない
- 行きやすい歯科医院(6)
  - ・託児してもらえるスペース(ただおもちゃが置いてあるだけのキッズスペースではなく)がある
  - ・子供と一緒に親も受診しやすい
  - ・予約制による歯科医の増加
  - ・日曜日にあいている
- 相談窓口(3)
- 歯科医院・歯科医師について(7)
  - ・何が得意とか特徴を知りたい。
  - ・力量のある歯科医師
  - ・保険診療以外の部分が多い領域なので、その判断や高い治療費と見合う医師かどうかの見極めが難しい。
  - ・痛くない治療・設備が普及し、時間が無くても治療できる体制が整わないと、良くなれないと思います。
  - ・歯をけずるのではなく、そのまま 80 歳まで使えるように大切にしてくれる歯医者
  - ・歯科医師がきちんと説明してくれる、してくれない、そして気になったのは歯科助手の対応でした。
  - ・矯正も含めた小児歯科に力を入れている歯科医院
- 知り合いが検診を受けたところ、健康な歯を金属の針で削り、歯科衛生士が虫歯はないと言っているのに、その紙

を訂正して「はい虫歯です。」。500円で検診が受けられるのでいいかと思って行ったが、健康な歯に傷をつけられるとは思っていなかった。これは成田市にも責任があり、市が書類をきちんと精査していれば、判明しているはず。検診の予算は税金ですよ。歯をけずるのではなく、80歳まで使えるように大切にしてくれる歯医者さんはいませんか。そのような歯医者さんに検診をお願いしたい。今年の検診は、そのような歯医者さんを成田市で紹介してください。

- 以前の歯医者では、治療目的ではない歯の治療を患者の同意を得ず勝手に始められた。余計な治療をしていたような気がする。納得がいけないことが多かった。昔から歯医者に対しては良い印象がない。このような思いをしなくても済むようにしてほしい。
- 成人歯科検診の推進(健診機会の増加)(9)
- 集団検診・職場での検診(3)
- 検診費用の助成(6)
- 医療費の助成(2)
- 成人のクリーニングの費用の補助をしてほしい。(3)
- 成人歯科検診の無料化(1)
- 今後定期検診を受けたい(2)
- 市で定期検診の補助があるので、とても有効に活用させてもらっている
- 虫歯になってからでは遅いので、治療より予防に力を入れ、スウェーデンやフィンランドのように虫歯の人が少なくなると良いと思います。年齢を重ねても健康でいられる人が多いことで、医療費も抑えられると思います。
- 市から歯について予防のための勧めがあり受診した。
- 60才を過ぎ、歯医者に行く事の必要性がわかりました。もう少し早く自覚すれば、よかったと思っています。
- 働いていると歯科医療を受けるタイミングが難しく、また緊急の痛み等に対応できるシステムを確立してほしい。
- 障害児を抱える親の口腔ケアにも、力を入れて頂きたい。年に一度でも、自宅訪問して頂けると助かります。
- 予防のために歯科医院に行くことが面倒。虫歯で痛みが出てからでないと病院には行きません。世代的に(40代)歯に対する意識が低いのかもかもしれません。予防の重要性が広まるといいかもしれません。そこまでの必要が本当にあるのか、もっと気軽にできる検査はないのかなど知る機会が欲しいです。
- 歯と口腔に関しては、自分から機会を作ることは他人が思うほど容易ではない。市からの報せだけではなく、アクションの起こしやすい環境が作れないだろうか。
- 歯と健康は密接なつながりがありますが、それは歯並びの悪さも虫歯になりやすいなどの悪影響があるとのことで、歯科でも歯科矯正を勧められますが、保険も効かず高額な費用がかかります。この先の生活に不安があればなかなか。そのような状況で8020運動とうたって難しいのではないかと。
- この問題に行政が取り組んでいただけるとは全く思ってもいませんが、市民の健康、特にこれからの子供たちの歯を健康に保てるようお願いします。
- 歯を大切にしていきたい(6)
- 天然の口腔殺菌効果をもった地下水の探索と、その水を市内の大きな公園などに供給して、みんなで使用できるようにしてほしい。
- 歯の管理は個人の考え方だと思う(3)
- 歯と口腔の健康づくりは、幼少時から高齢になるまで、長く必要とするものです。成田市としても、これまで以上にいろいろな工夫を加え、取り組みを展開して行って頂きたいと思います
- 大事なことだとわかっているけれど、普段はそれほど気にせずに過ごしていました。今回のアンケートをきっかけにして、もう一度考えてみようと思いました。
- 食は、健康の源です！ 8020いいですね！

## まとめ

「歯と口腔に関するアンケート」にお答えいただきまして、ありがとうございました。

平成 26 年に実施しましたアンケートと比較を行ったところ、8020 運動の認知度は高まっているものの、歯科検診の助成を望む声が多く成人歯科検診の認知度の低さ、周知不足がうかがえました。

また、歯科医院での治療の体験談やご意見等からは、歯科医師会と連携した環境整備の必要性があると感じました。

アンケート結果やいただいたご意見等を踏まえ、歯科保健事業について実施方法や周知方法を検討し、市民の皆さまが自ら歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう努めて参りたいと思います。